

天竜川の
礫河原における

守りたい在来植物



「河原の星の花」ともいわれる、天竜川に咲く希少植物ツツザキヤマジノギク

ツツザキヤマジノギク

キク科 二年生草本

長野県レッドデータブック：絶滅危惧ⅠA類

- 全国でも、長野県天竜川流域のごく限られた場所にのみ生育する、希少な植物です。
- 近い将来における絶滅が危惧されている種で、長野県レッドデータブックの最も絶滅の危険性の高い種（絶滅危惧ⅠA類）、長野県の条例*の保護対象種（指定希少野生動植物）、また松川町の天然記念物に指定されています。
- 花びら（舌状花）が筒状に咲くことから、その名前がついています。花びらの先が2つに割れたものや、筒状にならず先が細かく割れたものなど、変化に富んだ形の花々がみられることも、特徴のひとつです。
- 主に、日当たりのよい礫河原に生育します。花は晩秋（10-11月ごろ）に咲きます。発芽から1～2年程度で一度だけ花を咲かせた後、枯死します。種子の寿命が短いため、親株がいなくなってしまうと絶滅する可能性が高いことから、これらを保護することが望まれます。



ツツザキヤマジノギクの花。その形に、さまざまなタイプがみられる



結実したツツザキヤマジノギク



ツツザキヤマジノギクの生育環境（礫河原）

■ご注意■ ツツザキヤマジノギクは、採ってはいけません！

「ツツザキヤマジノギク」は、長野県の条例*により保護されており、県への届出なしに採取すること（抜くこと、種子を取ること、など）が禁止されています。

みつけても、採るのはもちろん、折ったり、踏んだりしないで、大切に見守ってください。

*長野県希少野生動植物保護条例